

## おいしくってかわいい！ 女山大根を使った恵方巻き作り

1/26 [Sun]



▲恵方巻き作りを楽しむ参加者

節分を前に、たく市民大学ゆい工房の「可愛い子鬼と女山大根の恵方巻き作り講座」（主催：公益財団法人孔子の里）が多久市中央公民館で開催されました。

飾り巻き寿司インストラクターの高松美由紀<sup>たかまつ みゆき</sup>さんの指導を受け、参加者は恵方巻きと鬼の飾り巻き寿司の3種類に挑戦。具沢山の恵方巻きには、女山大根の塩こうじ漬けや葉の浅漬けを巻き、きれいな紫色が映えていました。また、厚焼き玉子やチーズで角や目鼻を作った、表情豊かな赤おにと青おにも完成。

参加者は「初めてでも、かわいい巻き寿司が作れて楽しかったです。先生のアドバイスのおかげで太巻きもうまく巻けてよかったです」と出来栄を喜んでいました。



## 学びの成果を披露

## 多久高校総合学科発表会

1/31 [Fri]

多久高校の「令和元年度第16回総合学科発表会」が多久市中央公民館で行われ、各学年の代表者がインターンシップで学んだことや自身で立てたライフプランなどを発表しました。

壇上に立った生徒は、系列ごとの専門的な授業や体験を通して学んだことをパワーポイントを用いて説明。映し出す文字の大きさや量など、細かなところまで工夫していました。ライフプランを発表した人文科学系列の菅暉楠<sup>すが しょうなん</sup>さん（1年）は、「緊張しましたが、うまくできて良かったです。中国にいる親戚とも話せるようになるために、北京へ語学留学したい」と、発表の感想とこれからの目標を話しました。



▲スクリーンに映し出しながら説明する生徒

## 議会への理解を深める

## 「子ども議会」で活発に議論

2/2 [Sun]



▲堂々と発表する議員役の児童

多久市議事堂で「子ども議会」（主催：多久市議会）が開かれ、市内の義務教育学校に通う6年生8人が参加し、横尾俊彦市長が提案した架空の議案「児童生徒のオンラインゲーム利用時間の適正な管理に関する条例」を議論しました。

議員役の児童たちが市議会議員からアドバイスを受けながら積極的に意見を交わす姿に、傍聴人から驚きの声も上がっていました。

提案された議案は、5対3の賛成多数で可決。賛成に手を挙げた中央校の山口紗映<sup>やまぐち さえ</sup>さんは、「貴重な体験でした。少し緊張しましたが、発言するとすっきりしたし、自分の意見が通ったようで嬉しかったです」と話しました。